

北薩感染症情報

2024年第20週(5月13日～5月19日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値	定点報告数		前週報告数 (人)	今週報告数 (人)	定点報告数	前週からの 増減	警報 注意報	前週報告数 (人)	今週報告数 (人)	定点報告数	前週からの 増減	警報 注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	7	16	2.29	↗	—	1	—	—	↓	—	
	COVID-19	—	—	—	14	10	1.43	↓	—	8	4	0.80	↓	—	
小児科定点	RS	—	—	—	3	—	—	↓	—	1	1	0.33	→	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	18	11	2.75	↓	◎	19	16	5.33	↓	◎	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	13	6	1.50	↓	—	25	31	10.33	↗	◎	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	10	15	3.75	↗	—	5	6	2.00	↗	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	1	0.25	→	—	—	1	0.33	↗	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	27	62	15.50	↗	◎	8	17	5.67	↗	◎	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	4	1	0.25	↓	—	—	—	—	→	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	3	0.75	↗	—	4	1	0.33	↓	—	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	→	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	4	1	1.00	↓	—	/	/	/	→	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	—	1	/	↗	—	
報告数合計		—	—	—	101	126	/	↗	/	71	78	/	↗	/	
<p><注意報・警報レベル></p> <ul style="list-style-type: none"> 川薩保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル), 手足口病(警報レベル) 出水保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル), A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報レベル), 手足口病(警報レベル) <p><全数報告></p> <ul style="list-style-type: none"> 川薩保健所管内 なし 出水保健所管内 結核1例 <p><インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等></p> <ul style="list-style-type: none"> 川薩保健所管内 なし 出水保健所管内 なし 															

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	20W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	18.57	27.43	24.71	9.29	4.86	1.86	0.29	0.29	1.00	2.29
	COVID-19	—	—	8.71	4.43	4.14	2.57	2.71	2.57	2.14	1.00	2.00	1.43
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.25	0.75	0.25	—	4.00	2.00	0.75	1.00	0.75	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	7.00	8.25	6.25	8.00	8.00	5.25	5.50	3.50	4.50	2.75
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.25	1.50	2.00	0.25	2.50	3.75	3.50	2.75	3.25	1.50
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	11.25	7.25	6.50	5.75	4.25	3.75	4.75	2.25	2.50	3.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	0.50	0.25	—	—	—	0.25	—	0.25	0.25
	手足口病	5.00/2.00	—	0.25	—	—	—	0.75	3.50	2.50	2.50	6.75	15.50
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.75	—	—	0.25	0.75	0.25	0.50	0.25	1.00	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	0.25	—	0.25	—	0.75
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00	5.00	5.00	1.00	4.00	1.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	20W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	9.60	9.20	17.20	6.00	0.20	0.20	—	—	0.20	—
	COVID-19	—	—	4.20	4.40	5.20	3.40	1.40	3.80	0.60	1.80	1.60	0.80
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.33	—	1.00	0.33	0.33	—	0.67	0.33	0.33	0.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	8.67	5.00	5.33	5.33	4.00	1.33	3.67	3.67	6.33	5.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	8.00	5.00	6.33	3.00	9.67	9.33	13.67	9.33	8.33	10.33
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	5.00	4.00	5.33	1.67	1.33	1.33	0.67	0.33	1.67	2.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	0.33	2.00	0.67	2.67	5.67
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.33	—	0.33	—	—	—	0.33	0.33	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	0.67	0.67	1.33	0.33
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第20週に関して、出水でも手足口病の警報が発令されました。出水においては他にも咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が引き続き警報発令中です。また、川薩においても咽頭結膜熱と手足口病が引き続き警報レベルを上回っています。インフルエンザ様症疾患における学級閉鎖等はありませんでした。手足口病はワクチン等もなく、軽症で終わることが多いのですが、まれに重症化し、中枢神経の疾患も合併してしまいます。そうならないように、発病したお子さんがいましたら、こまめに様子を伺い、変化に気づくことができる様にしましょう。

7月からお札のデザインが変わります



北里柴三郎って、どんな人...？

(出典 北里大学北里研究所病院ホームページ)



・経皮(創傷)感染(破傷風)
・媒介感染(ペスト)
・飛沫感染(ペスト)

北里柴三郎は“医の基本は予防にある”という信念をもち、国内外での伝染病予防と治療に貢献した熊本出身の医師・細菌学者です。

破傷風菌の純粋培養(破傷風菌のみを培養すること)に世界で初めて成功し、『血清療法』を開発しました。伝染病に対する有効な原因療法が存在しなかった当時、血清療法は画期的な手法であり、その後、ジフテリアの治療にも取り入れられました。

また、福沢諭吉(現、1万円札肖像画)の支援を受け、大学や研究所、病院を創立し、後進の指導にも熱心に取り組みました。そして、多くの優秀な弟子を輩出しました。野口英世(現、千円札肖像画)もその一人です。

※血清療法...無毒や弱毒化した毒素を少量ずつ注射し、体内で抗体が作らせる治療・予防方法。

【北里柴三郎の生涯】(出典 学校法人 北里研究所北里柴三郎記念博物館ホームページ)

1853(嘉永5)年

・熊本県阿蘇郡小国町北里で生まれる

1874(明治7)年

・東京医学校(現、東京大学医学部)に入学

・在学中に予防医学を生涯の仕事にする事を決意し、卒業後、内務省衛生局に入局

1886(明治19)年

・ドイツに留学

・ローベルト・コッホに師事

・破傷風菌の培養成功、免疫抗体を発見し、血清療法確立

1892(明治25)年

・帰国後、福沢諭吉の支援の下、伝染病研究所創立

・日本最初の結核専門病院(現、北里大学北里研究所病院)開設

1894(明治27)年

・香港で蔓延したペストの原因追及のために現地へ赴き、ペスト菌発見

1914(大正3)年

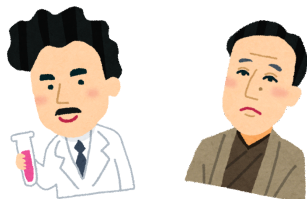
・医学研究機関『北里研究所』を創立し、教育活動や衛生行政等の分野にも貢献

1917(大正6)年

・慶應義塾大学医学部創設、日本医師会などの各種医学団体や病院を設立

1931(昭和6)年

・脳溢血により永眠



【破傷風】

原因病原体:破傷風菌(毒素を産生することにより発病)

ヒト-ヒト感染:なし(傷口に破傷風菌が侵入することで感染)

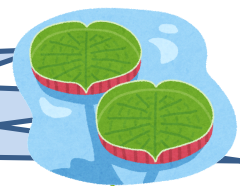
症状:痙攣, 硬直, 開口障害, 嚥下困難, 歩行や排尿・排便障害

特徴:1968年から定期接種(免疫は約10年)が実施され、近年は感染者のほとんどは30歳以上の成人で発症

治療は対症療法のみ(組織に結合していない毒素には対処可能)

潜伏期:3~21日(平均10日)

海外渡航は感染症にご注意ください



- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経皮(創傷)感染
- ・媒介感染 etc.

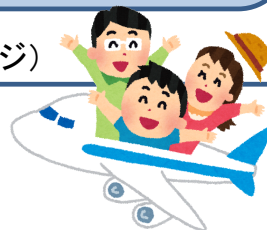
海外旅行は危険なの...?

日本と外国では、気候や衛生環境、生息する動物など、環境が異なり、感染症の流行状況も日本とは違います。そのため、日本で流行している感染症の対策だけでは不十分であり、外国で流行している感染症に旅行中または帰国後にかかる可能性があります。

海外旅行を楽しい思い出にするために、旅行先の衛生環境や流行している感染症について調べ、予防策を立ててから出発しましょう。

(出典 厚生労働省検疫所FORTHホームページ)

海外旅行では何が原因でどうやって感染することが多いの...?



●食べ物

汚染された食べ物や水の摂取、感染者と接触することで感染します。旅行客の下痢の原因の多くは食べ物からうつる病気とされています。

- 【対策】・トイレ後や帰宅後、調理前、食べる前の手洗いを徹底する
- ・生水は飲まず、ミネラルウォーターや沸騰した水を飲む(氷も安全な水から作る)
 - ・口に入れるものは必ず加熱調理されたものとし、サラダや生野菜は避ける



●虫

昆虫などの虫に刺されたり、咬まれたりすることで虫の持っている病原体がうつります。

- 【対策】・虫除け対策を行う
- ・虫からうつる病気が流行している地域で発熱した際は早めに医療機関を受診する
 - ・予防接種(日本脳炎、黄熱など)や予防薬(マラリア)携行を検討する



●動物

病気を持っている動物を触わる、排泄物に汚染された食品を食べる、咬まれたり引っ掻かれたりすること等で動物が持っている病気がヒトにうつることがあります※狂犬病は致死率100%

- 【対策】・動物にむやみに近づかない、触らない
- ・動物の排泄物が多い牧草地帯では、飲食物への注意を厳重に守る



●人

咳をした際に吐き出される飛沫(病原体が含まれるしぶき)を吸ったり、人の鼻水や唾液にさわると、その病原体が口から入ることです。

- 【対策】・予防接種を受ける
- ・咳をしている人や病気の人にはあまり近づかない



●性行為

異性間、同性間の性行為で感染し、泌尿生殖器に症状が現れます。男女で症状が異なる場合があります。薬が効きにくい性行為感染症もあります※HIV感染症が世界中で爆発的に増加中

- 【対策】・ゆきずりの性行為は断る(特に売春街では感染率が高い)
- ・コンドームを正しく利用する

●環境

傷口から細菌が侵入します。傷がなくても、病原体のいる土ぼこりを吸い込んだり河原や湖畔を裸足で歩くと寄生虫が皮膚を食い破ったりして体内に侵入します。

- 【対策】・怪我をしたら適切な治療を受ける
- ・安全が確保できない場所では裸足で歩かず、危険地域では淡水(川、湖沼など)遊びはしない
 - ・土ぼこりなどからうつる病気のみられる地域には近づかない





手足口病の警報が発令されました！

- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経口感染

手足口病とは...?

手足口病とは、ウイルス(コクサッキーウイルスA6, A16, A10 やエンテロウイルス71が原因であることが多い)を病原体とし、手や足、口に水疱場の発疹(水ぶくれ)ができる感染症です。まれに中枢神経系(脳や脊髄)の合併症を引き起こします。ワクチンなどはありませんので、予防をすることが大切です。

乳幼児はこれらのウイルスに感染した経験のない者が多く、衛生観念が未発達なことや濃厚接触が生じやすいため、幼稚園や保育園は集団感染が起こりやすく、特に注意が必要です。

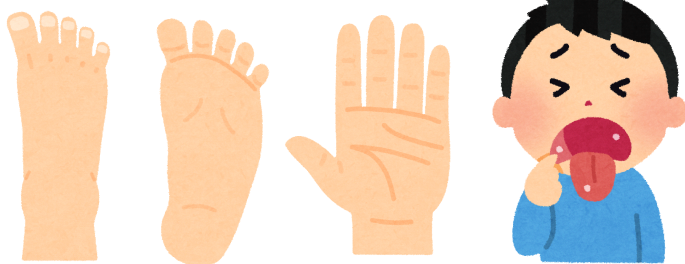
原因病原体:コクサッキーウイルス(A6,A16,A10)やエンテロウイルス(71)等
ヒト-ヒト感染:あり

症状:水疱性発疹(手, 足, 口), 発熱, 手足の爪の脱落など

潜伏期:3~5日

流行時期:夏(7月下旬がピーク)

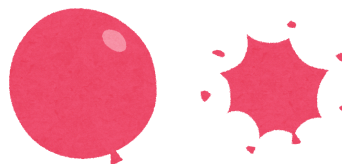
【水疱が現れる部位】



足の甲 足の裏 手のひら 口の中

- ・上記部位に2~3mmの水疱が出現
- ・報告数の約90%は5歳以下の乳幼児
- ・成人も感染するが不顕性感染(ウイルスに感染しているが症状がない)が多い
※不顕性感染の場合でもヒトにうつす可能性はある

NG



水ぶくれは潰さないようにしましょう...!

潰してしまい、内容液に触れたら、他のところに触れてしまう前にすぐに手を洗いましょう。

回復してからもウイルスは排出されているので、注意しましょう。

- ・飛沫, 鼻汁:回復後1~2週間
- ・便:回復後数週間~数ヶ月



ならないようにするには?

- ・流水と石けんによる手洗い(特にトイレやおむつ交換後)
- ・うがい
- ・咳エチケットの励行
- ・タオルや食器の共有を避ける



6月1日～6月7日は
HIV検査普及週間です！

- ・性行為感染
- ・血液感染
- ・母子感染

HIVとは...?

HIVとはHuman Immunodeficiency Virus(ヒト免疫不全ウイルス)のことです。このウイルスが体内に侵入し、免疫にかかわる細胞に感染すると日和見感染症(本来なら自分の免疫力で抑えられる病気)を発症します。これがエイズです。ワクチンはありませんが、現在は様々な治療薬が出ており、きちんと服薬することでエイズ発症予防が可能です。

原因病原体: HIV(ヒト免疫不全ウイルス)

ヒト-ヒト感染: あり

症状: 数年自覚症状なし

(2~4週間後にまれに発熱, リンパ節の腫れ, 頭痛等の風邪症状)

潜伏期: 数年~数十年



感染者と同じトイレやお風呂などを使用しても感染することはありません。

現在, 献血された血液は厳重な検査により最高水準の安全が確保されています。



性行為による感染を防ぐため, コンドームを正しく使用しましょう。
※オーラルセックスでも感染の可能性があります。

保健所での取り組み

保健所では無料・匿名でHIVの検査が可能です。

HIV検査普及週間においては夜間・休日検査を実施いたします。

各保健所で日程が異なりますので, 次頁および鹿児島県ホームページをご覧ください。

※要予約



**感染の機会から3ヶ月以上経過していない場合,
確実な検査結果が得られません。**

※3ヶ月未満で検査してしまうと, 体内で作られた抗体の量が少なく,
検査で検出できない場合があります。

(感染していたとしても陰性となる可能性があります)。



HIV検査普及週間 <休日・平日夜間検査日程表>

● 平日夜間検査

保健所	実施日	時間	予約期限	備考
指宿 ☎ 0993-23-3854	6月1日(木)	17:00～19:00	5月31日(水)17:00	
加世田 ☎ 0993-53-2315	6月6日(火)	17:15～19:00	6月5日(月)17:15	
川薩 ☎ 0996-23-3165	6月5日(月)	17:00～19:00	6月2日(金)17:00	
出水 ☎ 0996-62-1636	6月7日(水)	17:00～19:00	6月6日(火)17:00	
大口 ☎ 0995-23-5103	6月6日(火)	17:00～19:00	6月2日(金)17:00	
始良 ☎ 0995-44-7956	6月2日(金)	17:00～19:00	6月1日(木)17:15	
志布志 ☎ 099-472-1021	6月6日(火)	17:00～19:00	6月5日(月)17:00	
鹿屋 ☎ 0994-52-2106	6月5日(月)	17:00～19:00	6月2日(金)17:00	
屋久島 ☎ 0997-46-2024	6月1日(木)	17:00～19:00	5月31日(水)17:00	
名瀬 ☎ 0997-52-5411	6月1日(木)	17:15～19:00	5月31日(水)17:00	
徳之島 ☎ 0997-82-0149	6月5日(月)	17:00～19:00	6月2日(金)17:15	

● 休日検査

保健所	実施日	時間	予約期間	備考
伊集院 ☎ 099-273-2332	6月3日(土)	13:00～15:00	5月31日(水)17:00	
西之表 ☎ 0997-22-0018	6月4日(日)	10:00～12:00	6月2日(金)17:00	
鹿児島市 ☎ 099-803-7023	6月4日(日)	13:00～16:00	5月19日(金)8:30～ 6月1日(木)17:15	詳細は、鹿児島市の ホームページに掲載

- HIV検査普及週間中（6月1日～6月7日）、休日・平日夜間にも無料で検査ができます。
- 検査を受けるには予約が必要となります。管轄の保健所に電話で予約をお願いします。